

外科学 (1)

Surgery (1)

教授	三崎 拓郎	Takuro Misaki
助教授(前)	大嶋 義博	Yoshihiro Oshima
講師	津田 基晴	Motoharu Tsuda
講師	湖東 慶樹	Keijyu Kotoh
講師	芳村 直樹	Naoki Yoshimura
助手	深原 一晃	Kazuaki Fukahara
助手	山下 昭雄	Akio Yamashita
助手	土岐 善紀	Yoshinori Doki
助手	村上 博久	Hirohisa Murakami
助手	一木 克之	Katsuyuki Ichiki
助手	土居 寿男	Toshio Doi
助手(前)	土肥 善郎	Yoshio Doi

著 書

- 1) 深原一晃, 三崎拓郎: 不整脈の外科治療. 「心臓外科」新井達太他編, 577-585, 医学書院, 東京, 2005.
- 2) 三崎拓郎, 深原一晃: 手術と電気生理検査. 心臓電気生理検査を解く, 「Heart View 増刊 11」191-195,2005.

原 著

- 1) Hidetaka Ando, Loreto B. Feril, Jr., Takashi Kondo, Yoshiaki Tabuchi, Ryohei Ogawa, Qing-Li Zhao, Zheng-Guo Cui, Shin-ichiro Umemura, Hideki Yoshikawa, and Takuro Misaki.:An echo-contrast agent, Levovist, lowers the ultrasound intensityrequired to induce apoptosisof human leukemia cells. Cancer lett.2006(In press).
- 2) Feril LB Jr., Kondo T., Cui ZG, Tabuchi Y., Zhao QL., Ando H., Misaki T., Yoshikawa H., Umemura S.:Apoptosis induced by the sonomechanical effects of low intensity pulsed ultrasound in a human leukemia cell line.Cancer Lett.;221:145-52,2005.
- 3) Kotoh K., Fukahara K., Yamashita A., Seki K., Misaki T.: Ischemic changes in evoked spinal cord potentials during profound hypothermic circulatory arrest in thoracic aortic surgery. Surg Today. 35:271-274,2005.
- 4) Yoshimura N, Yamaguchi M, Oka S, Yoshida M, Murakami H, Kagawa T, Suzuki TInhaled nitric oxide therapy after Fontan-type operations.Surg Today. 35:31-35,2005.
- 5) Yoshimura N., Yamaguchi M., Oka S., Yoshida M., Murakami H.: Pulmonary artery banding still has an important role in the treatment of congenital heart disease. Ann Thrac Surg. 79:1463,2005
- 6) Hasegawa T., Yamaguchi M., Yoshimura N., Okita Y.: The dependence of myocardial damage on age and ischemic time in pediatric cardiac surgery The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 129 192-198,2005 .
- 7) Ootaki Y., Yamaguchi M., Yoshimura N.: How can we define the dimensions for safe intraoperative hematocrit level?.J Thorac Cardiovasc Surg.12:1201-1202,2005.
- 8) Yoshida M., Yamaguchi M., Yoshimura N., Murakami H., Matsuhisa H., Okita Y.: Appropriate Additional Pulmonary Blood Flow at the Bidirectional Glenn Procedure is Useful for Completion of Total Cavopulmonary Connection. Ann Thrac Surg. 80:976-981,2005.
- 9) 湖東慶樹, 深原一晃, 土居寿男, 仙田一貴, 三崎拓郎: Proximal anastomotic system を用いた OPCAB 術中のグラフィックデザインの工夫. 胸部外科 58:206-9,2005.
- 10) 湖東慶樹, 深原一晃, 土居寿男, 仙田一貴, 三崎拓郎: リアルタイム三次元心臓超音波ガイドによる心拍動下僧帽弁形成術の試み - 実験的検討 - 北陸外科学会誌 . 23:7-9,2004.
- 11) 廣瀬幸美, 市田落子, 大嶋義博:乳児期に心臓手術を要する児の発達に関する研究ー乳児期前半のおける発達とその関連要因ー.小児保健研究 . 64 669 2005 .

症例報告

- 1) Oshima Y., Yoshiro D., Shimazu C., Misaki T.:Left pulmonary arterioplasty--extended end-to-end anastomosis. Ann Thorac

Surg.79:1795-6. 2005.

- 2) Oshima Y., Doi Y., Misaki T., Ichida F.:Surgical repair of coronary sinus orifice atresia. . Eur J Cardiothorac Surg.27:351-2. 2005.
- 3) 濱田浄司, 湖東慶樹, 土居寿男, 深原一晃, 三崎拓郎.:びまん性の冠動脈狭窄病変に対し OPCAB を施行した 1 例の経験. 金沢冠血管談話会記録集 22: 19-21,2005 .
- 4) 名倉里織, 土居寿男, 深原一晃, 湖東慶樹, 三崎拓郎.:クモ膜下出血急性期に発症した急性心筋梗塞の 1 例. 冠動脈疾患の臨床と研究. 22: 77-79,2005 .
- 5) 津田基晴, 佐藤佐弥, 一木克之, 土岐善紀, 三崎拓郎, 松井一裕, 程 春美: 乳癌胸骨転移の 1 例. 胸部外科. 58: 341-343,2005.
- 6) 山口敏之, 安藤豪隆, 萩原裕明, 高田 学, 小松信男, 橋本晋一: 内視鏡補助下に乳腺摘出術を行った女性化乳房の 1 例. 臨床外科. 60: 655-659,2005.
- 7) 横川雅康, 辻本 優: 血管内治療が有効であった院内発生急性肺塞栓症の 2 例. 北陸外科学会誌. 23: 41-44 . 2005 .

学会報告

- 1) 名倉里織, 土居寿男, 深原一晃, 湖東慶樹, 三崎拓郎.: 低心機能症例 (EF<30%) に対する Off-pump CABG の検討. 第 7 回北陸心不全外科治療研究会, 2005, 1, 金沢 .
- 2) 名倉里織, 土居寿男, 深原一晃, 湖東慶樹, 三崎拓郎.: タコツボ型心筋症を合併した急性冠症候群に対して OPCAB を施行した 2 例. 第 258 回北陸外科学会, 2005, 3, 富山 .
- 3) 名倉里織, 土居寿男, 深原一晃, 湖東慶樹, 三崎拓郎.: eNclose II を用いた off-pumpCABG の経験 - 初期使用の pitfall - . 第 48 回 関西胸部外科学会学術集会, 2005, 6, 松山
- 4) 名倉里織, 湖東慶樹, 横山茂樹, 土居寿男, 深原一晃, 三崎拓郎.: 急性冠症候群に対する冠血行再建術 第 45 回 金沢冠血管談話会, 2005, 7, 金沢 .
- 5) 名倉里織, 土居寿男, 深原一晃, 湖東慶樹, 三崎拓郎.: 抗生物質サイクル療法は多剤耐性菌の発生を減少する. 第 58 回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2005, 10, 岡山 .
- 6) 名倉里織, 横山茂樹, 土居寿男, 深原一晃, 湖東慶樹, 三崎拓郎.: 上行大動脈を中枢側吻合部とする radial artery を用いた OPCAB. ~ aortic punch 先行による eNclose II の使用 ~ . 第 19 回日本冠疾患学会学術集会, 2005, 12, 大阪.
- 7) 鈴木恵美子, 大嶋義博, 土肥善郎, 三崎拓郎, 橋本郁夫, 市田落子, 宮脇利男, 西尾夏人, 久保実, 太田邦雄: 一次手術として両側肺動脈絞扼術を行ない TCPC に到達し得た左心低形成症候群の 1 例. 第 29 回北陸小児循環器研究会, 2005, 2, 金沢 .
- 8) 鈴木恵美子, 大嶋義博, 土肥善郎, 三崎拓郎.: 右開胸アプローチによる心房中隔欠損閉鎖術の検討. 第 258 回北陸外科学会, 2005, 3, 富山 .
- 9) 鈴木恵美子, 大嶋義博, 土肥善郎, 三崎拓郎, 橋本郁夫, 市田落子, 宮脇利男, 二谷武: 18 および 13 トリソミーに対する外科治療. 第 41 回小児循環器学会総会, 2005, 7, 東京 .
- 10) 土居寿男: 高周波双極クランプ(Atricure)を用いた Maze 手術. 第 117 回富山循環器懇話会, 2005, 1, 富山.
- 11) 土居寿男, 名倉里織, 深原一晃, 湖東慶樹, 三崎拓郎.: 双極高周波焼灼システム(Atricure)を用いた心房細動手術. 第 5 回北陸臨床不整脈カンファレンス, 2005, 3, 金沢 .
- 12) 土居寿男, 深原一晃, 湖東慶樹, 三崎拓郎.: 超高齢者に対する冠動脈バイパス術の検討. 第 105 回日本外科学会定期学術集会, 2005, 5, 名古屋 .
- 13) 土居寿男, 名倉里織, 深原一晃, 湖東慶樹, 三崎拓郎.: Bipolar radiofrequency ablation system を併用した心房細動手術. 第 48 回関西胸部外科学会学術集会, 2005, 6, 松山 .
- 14) 土居寿男, 深原一晃, 名倉里織, 湖東慶樹, 三崎拓郎.: Enclose (TM)を用いた OPCAB の経験. 第 259 回北陸外科学会, 2005, 9, 金沢 .
- 15) 土居寿男, 名倉里織, 深原一晃, 湖東慶樹, 三崎拓郎.: Bipolar radiofrequency ablation system を多用した心房細動手術の検討. 第 58 回日本胸部外科学会総会, 2005, 10, 岡山 .
- 16) 一木克之, 土岐善紀, 峠 正義, 仙田一貴, 津田基晴, 三崎拓郎, 薄田勝男: 呼吸器症状を呈し 22 年後に再発が判明した巨大気管支嚢胞の 1 例. 第 22 回 日本呼吸器外科学会総会, 2005, 5, 京都 .
- 17) 土肥善郎, 大嶋義博, 島津親志, 大高慎吾, 三崎拓郎.: Pulmonary artery banding in low body weight infant. 第 35 回心臓血管外科学会学術総, 2005, 2, 浜松 .
- 18) 土肥善郎, 大嶋義博, 島津親志, 鈴木恵美子, 三崎拓郎.: 当科における無輸血開心術の現状 第 258 回北陸外科学, 2005, 3,

富山 .

- 19) 土肥善郎,大嶋義博,島津親志,大高慎吾,三崎拓郎,橋本郁夫,市田蒔子,宮脇利男,吉田丈俊,二谷 武.: 肺動脈弁欠損症に対する外科治療とその成績. 第 41 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 2005,6, 東京.
- 20) 土岐善紀,一木克之,津田基晴,仙田一貴,三崎拓郎,薄田勝男: 肺癌手術における自己血貯血. 51 回日本肺癌学会北陸地方会, 2005.2. 金沢.
- 21) 山腰高子,一木克之,土岐善紀,津田基晴,薄田勝男,三崎拓郎: 腺扁平上皮肺癌に対する手術例の検討. 259 回北陸外科学会, 2005.9. 金沢.3.
- 22) 土岐善紀,一木克之,津田基晴,薄田勝男,三崎拓郎: The Advantages of VATS Lobectomy for p-IA primary lung cancer. 58 回日本胸部外科学会, 2005.10. 岡山.
- 23) 土岐善紀,一木克之,津田基晴,仙田一貴,峠 正義,三崎拓郎,薄田勝男: 胸腔鏡下肺葉切除術における手技の工夫. 22 回日本呼吸器外科学会, 2005.6. 京都.
- 24) 土岐善紀,一木克之,津田基晴,仙田一貴,峠 正義,三崎拓郎,薄田勝男: 肺癌手術における自己血貯血の検討. 22 回日本呼吸器外科学会, 2005.6. 京都.
- 25) 土岐善紀,一木克之,津田基晴,仙田一貴,峠 正義,三崎拓郎: 完全胸腔鏡下肺葉切除術における当科の工夫 ~ ポート位置,血管処理,気管支処理の葉別の違い~. 48 回関西胸部外科学会, 2005.6. 愛媛.
- 26) 山下昭雄: 胸部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術. 第 117 回富山循環器懇話会, 2005, 1, 富山.
- 27) 山下昭雄,栗城葉子,仙田一貴,三崎拓郎: 腹部大動脈瘤待機手術に対する術前貯血と希釈式輸血による自己血輸血. 第 13 回日本血管外科学会東海北陸地方会, 2005,3,金沢.
- 28) 山下昭雄,仙田一貴,武部真理子,三崎拓郎: 緊急胸部大動脈ステントグラフト内挿術後左鎖骨下動脈塞栓術を施行した 1 例. 第 48 回関西胸部外科学会学術集会, 2005, 6, 松山.
- 29) 山下昭雄,仙田一貴,栗木葉子,三崎拓郎: 複雑な破裂形態を示した腹部大動脈瘤の 1 手術例. 第 33 回日本血管外科学会総会, 2005,6,旭川.
- 30) 深原一晃,土居寿男,大高慎吾,湖東慶樹,三崎拓郎: 双極高周波焼灼システム(AtriCure)を用いた Off-pump PV isolation と OPCAB の同時手術. 第 35 回日本心臓血管外科学会学術集総会, 2005,2,浜松.
- 31) 深原一晃,土居寿男,大高慎吾,湖東慶樹,三崎拓郎: 双極高周波焼灼システム(AtriCure)を用いた Maze 手術変法と僧房弁形成術. 第 105 回日本外科学会学術集会, 2005,5,名古屋.
- 32) 深原一晃: ICD と CRT 植込みと管理の実際 - CRT 植え込み手技 -. 第 20 回 日本心臓ペースング・電気生理学学会学術大会, 2005,5,宝塚.
- 33) 深原一晃,土居寿男,名倉里織,湖東慶樹,三崎拓郎: Off-pump CABG の有用性と安全性を高めるために - free graft 中枢側吻合からの検討 -. 第 58 回 日本胸部外科学会総会, 2005,10,岡山.
- 34) 湖東慶樹,名倉里織,深原一晃,土居寿男,三崎拓郎: LMT 高度狭窄病変に対する OPCAB の工夫 - IABP 導入前挿入の検討 -. 第 19 回日本冠疾患学会学術集会 2005,12,大阪.
- 35) 湖東慶樹,深原一晃,土居寿男,名倉里織,三崎拓郎: リアルタイム三次元心臓超音波ガイドによる心拍動下僧帽弁形成術の試み - 実験的検討 -. 第 48 回関西胸部外科学会学術集会 2005,6,松山.
- 36) 湖東慶樹,深原一晃,土居寿男,名倉里織,横山茂樹,三崎拓郎: OPCAB 術後脳梗塞における危険因子の検討第 58 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2005,10,岡山.
- 37) 大嶋義博,土肥善郎,島津親志,三崎拓郎: 左肺動脈形成-拡大端々吻合-第 105 回日本外科学会定期学術集会. 2005,5,名古屋.
- 38) 大嶋義博,鈴木恵美子,名倉里織,島津親志,土肥善郎,三崎拓郎: Norwood 型手術における術式の工夫 自己組織を用いた弓部形成-縮窄予防と縫合手順の工夫. 第 48 回関西胸部外科学会学術集会, 2005,6,松山.
- 39) 横川雅康: 当科における末梢血管病変の外科治療. 呉西地区循環器懇話会, 2005, 2, 高岡.
- 40) 横川雅康,辻本 優,平 栄: 強度変調治療(Cutting Field IMRT)が奏功した大静脈内腫瘍浸潤の 2 例. 第 13 回日本血管外科学会東海北陸地方会, 2005.03.05, 金沢.
- 41) 横川雅康,辻本 優: 透析患者における transposition brachiobasilic arteriovenous fistula の有用性. 第 33 回日本血管外科学会総会, 2005,6,旭川.
- 42) 横川雅康,辻本 優,平瀬裕章: Stent 治療にて軽快した慢性腸間膜虚血の一例. 第 259 回北陸外科学会, 2005,9,金沢.
- 43) Delgado,A.C.,Resende,M.,Aoki,F.H.,Pedro.,R.J.,Moretti,M.L.,Yamamoto,K.: Oral colonization by Candida species in HIV patients undergoing HAART.第 49 回日本医真菌学会総会, 2005, 10, 千葉.

- 44) 山口敏之, 井原 頌, 萩原裕明, 高田 学, 小松信男, 橋本晋一, 臼井健二: 腹部大動脈瘤慢性閉塞の1例. 第33回日本血管外科学会総会, 2005,6, 旭川.
- 45) 市川秀幸, 曾根しゅう輔, 石毛広雪, 山口敏之, 山浦浩郷, 李 思元, 高山文吉, 春日好男, 磯村高之: 平成14年度JA長野厚生連乳がん検診も成績. 第52回日本農村医学会総会, 2004,10, 広島. (昨年度補遺)
- 46) 萩原裕明, 井原 頌, 高田 学, 小松信男, 山口敏之, 橋本晋一, 臼井健二: 後腹膜腔に発生した粘液嚢胞性腺癌の1例. 第103回信州外科集談会, 2004,6, 豊科. (昨年度補遺)
- 47) 井原 頌, 萩原裕明, 高田 学, 小松信男, 山口敏之, 橋本晋一, 臼井健二: 前年の胃検診にて発見できなかった進行胃癌の3例. 第38回小諸北佐久医師会, 2005,2, 小諸.

その他

- 1) 山本恵一: 富山医科薬科大学(医学部・薬学部・和漢薬研究所)より富山大学医学部・同薬学部・同和漢医薬学総合研究所へ. 富山市医師会報, 416: 7-8, 2005.